

夢創造

令和元年6月17日（月）no.9 文責：上田

六月は歯科検診を実施するとともに、染め出しを使ったブラッシング指導も行っています。



中体連大会 チーム力に期待

今週末、阿蘇郡市中体連大会が行われます。梅雨期の大会で、屋外競技は延期も想定しなくてはなりません。送迎・応援いただくご家庭には、連絡の方法や日程についてご確認、ご協力をお願いします。

さて、いよいよ中体連大会。学園では9年生を中心とした野球部・バドミントン部の練習も熱をおびています。チームとしての勝利を目指し、一人一人が目標をもって練習に取り組んでいます。ベンチでの応援も仲間を勇気づけることだと思います。チームとして練習・大会を通じて得るものがたくさんあるのが中体連大会。9年生にとってはこの3年間の部活動の最後の大会です。今、大会に向けてチームとして取り組んでることに精一杯努めてほしいと思います。

私は、今年も野球競技の会場長を務めます。昨年の大会では産山学園の野球部がチームとしてあきらめない気持ちを全面に出したプレーで感動をくれました。今年はどんな産山学園生らしさを見せてくれるのか、今からとても楽しみにしています。

22日（土）

**【野球】あびか農村公園
11:30 対南阿蘇中
トーナメント戦**

**【バドミントン】
南阿蘇中体育館
9:30 5校リーグ戦
(23日個人戦)**

6月「心のきずなを深める月間」 「希望をみせてあげたい」

先日のNHKスペシャル『“不登校”44万人の衝撃』（生放送）をご覧になられましたか。日本財団やNHKの調査では、「別室登校」「部分登校」など、登校しても教室で過ごせない“隠れ不登校”とも呼ばれる子どもたちを含めると、44万～88万、8人に1人が教室にいられないという現実、私は衝撃を覚えました。また、番組調査では、不登校・不登校傾向の理由として「先生との関係についての悩み」「決まりや校則になじめない」が20%を超え、これまで不登校・不登校傾向の理由として大半であった「クラスの空気がいや」「勉強についての悩み」等の理由と複合的なものであることが指摘されていました。

一方、スクールバスを待つ子どもたちが被害にあった川崎での死傷事件では、容疑者が『引きこもり』であったことが報じられました。決して、引きこもり＝容疑者ではありませんが、人格を形成する学校という場でどのようなことを経験し、学んでいたのでしょうか。

あるラジオ番組で、不登校生徒の支援をされている方が、自らも不登校・引きこもりを経験したことを話されていました。その方は「（子どもたちに）希望をみせてあげたい」と述べられていました。産山学園は子どもたちに、真に希望を見せてあげられているのか、問わなくてはならないと思います。